

きずなの郷

第13号
2004 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会 平成16年7月10日

かねてから日本自転車振興会（競輪）に補助申請をしてきていたわかふじ寮木工作業棟のから補助が内定しました。四月二日に東京で行われた補助金交付内定式で内定書を頂き、正式に五月二十一日付けで決定通知書を受け、いよいよ建設が始まります。

この木工作業棟は、既存の作業棟の東側に増築する形で計画をしています。

建物の構造は鉄骨造二階建一棟、延床面積は九二一・二二〇m²です。

総工費は約一二〇、〇〇〇、〇〇〇円、財源の内訳は日本自転車振興会（競輪）の補助金三二、二一五、〇〇〇円主財源に、新得町の補助金一二、〇〇〇、〇〇〇円と残りを自己資金で賄う予定です。

今回建設の作業棟では、現在旧作業棟で行っている木工用NC加工を

かねてから日本自転車振興会（競輪）に補助申請をしてきていたわかふじ寮木工作業棟のから補助が内定しました。四月二日に東京で行われた補助金交付内定式で内定書を頂き、正式に五月二十一日付けで決定通知書を受け、いよいよ建設が始まっています。

この木工作業棟は、既存の作業棟の東側に増築する形で計画をしています。

建物の構造は鉄骨造二階建一棟、延床面積は九二一・二二〇m²です。

総工費は約一二〇、〇〇〇、〇〇〇円、財源の内訳は日本自転車振興会（競輪）の補助金三二、二一五、〇〇〇円主財源に、新得町の補助金一二、〇〇〇、〇〇〇円と残りを自己資金で賄う予定です。

今回建設の作業棟では、現在旧作

わかふじ寮木工作業棟建設へ

わかふじ寮
作業棟建設へ… 1

特 集
創設50周年… 2

厚生協会からのお知らせ

平成15年度
事業報告… 4

平成15年度
決算報告… 7

各施設からのたより… 8

ご寄附・ご寄贈芳名… 14

授産施設から… 14

このため作業環境を改善するべく新たな作業棟を建設することを決め、日本郵政公社にお年玉付郵便葉書、郵便切手に附加される寄付金の配分金の申請をし、このほど配分が決定しました。

建設場所は、わかふじ寮木工作業棟の西側に隣接する場所で、構造は、木造平屋建てで、延床面積は三八二・三二m²です。

総工費は約二六、〇〇〇、〇〇〇円、財源の内訳はお年玉付郵便葉書、郵便切手に附加される寄付金の配分金一〇、〇〇〇、〇〇〇円を主財源に、残りを自己資金で賄う予定です。

軽作業棟の完成により、他の作業棟を間借りしている状況が解消され、多様化する軽作業の作業場として期待されます。

建設工事は、木工作業棟と同様、七月下旬より始まり十二月中旬には完成の予定です。

建設工事は、木工作業棟と同様、七月下旬より始まり十二月中旬には完成の予定です。

わかふじ寮
軽作業棟
建設へ



杉本新得郵便局長から目録を贈呈される

わかふじ寮 創設50周年

特集記事として今回から3回に渡り連載します。

わかふじ寮創設期の思い出（技術指導員 森 義明） 元事務員 森 洋子

御影から新得町へ移ってきたのは、昭和28年の事でした。藤川先生と田中皎一先生、妻の恵子さん、産まれたばかりの長男雅之さん、そして私（義明）ともう一人の教え子北沢さんの6人です。持っていた風呂敷包みの中には僅かな身の回りの物と2つの鍋だけでした。

初めて移り住んだ建物は、現在の4条南5丁目あたりに建っており、1階で製菓作業（カリントウ作り）を行うなか、2階は寝室で皆一緒に寝泊りをしておりました。間もなく田村政雄氏の御厚意により土地と建物の御提供を頂き、現在の場所に移り木工の訓練を開始しましたが、当時は、私達らうあ者が使う手話は珍しく、周りの人から揶揄される事もありました。お金はなく、藤川先生や田中先生が私財を投げうち、実家からの援助も受け私達は支えられてきました。田中先生が自らの御実家がある滝川市へ汽車で向かい、米を背負って戻られた事や、法人認可を受けた後、施設棟上げの際には、私の父がお餅をついて持って来てくれし、皆で餅まきをした事は今でも忘れません。食べ物もなく、フキやワラビなどの山菜やたんぽぽを探って食べたり、おかずがなく、おし婆に少しの白米を混ぜた黒っぽいご飯の上から味噌汁をかけ食べた事もありました。また夜にお腹が空くと藤川先生がでん粉を湯で溶き、砂糖を入れたでん粉がきを作ってくれた事、木工の技術訓練に通っていた頃、空腹で辛い時には、田中先生が自腹でパンを買って食べさせてくれた事が大変嬉しく心に残っております。珍しくスイカが手に入った時など、皆嬉しくて皮ぎりぎりまで食べ、皮は捨てず漬物にして食べる事も藤川先生に教わりました。

家具の注文をもらう為、田中先生が長い物差しを持ち、自転車の後ろに藤川先生に乗せて方方を駆け回り、日曜祭日などの休日には、各町村へ赴き朝早くから晩遅くまで、展示会を開いたものです。また襖の貼り替えは当時女性の方々が担当していて、道具やふすま紙などの重い荷物を持ち、汽車で貼り替えて出掛けた事もあります。紙を伸ばして綺麗に貼り付ける事が難しく、田中先生にはいつも注意されていました。家具等の製品も納期に遅れる事のないよう、田中先生が注文を黒板に書き出しては常にチェックし、納期が迫った時などは残業も多くありましたが、女性の方も男性が仕事を終えるまでずっと待っていました。また寮に戻ると、1つしかない釜のお風呂へポンプで水を汲み、石炭がないのでおかずを燃やしながら順番に入っていました。時にはバチバチと彈けた火花で眉毛や髪の毛がチリチリに焼けた事もありました。後で施設内に新しいお風呂が出来た時には温泉のようだと皆で大喜びしたものです。娛樂もなく、たまの休日に近くの河原へ出掛けても、お弁当のおかずがなく、お釜ごとご飯を持って食べて食べた事もあります。田中先生の2人の息子さんのおやつも小麦粉をこねて焼いただけのものでした。

仕事の時には大変厳しい田中先生でしたが、プライベートでは聞こえない私達の事を親身になって支えてくれ、困った時には何とかしてくれると、いつも頼りにしておりました。また聞こえる人だけで話をしている時には、聞こえない人にもわかるよう必ず手話を使いなさいと厳しく言っておりました。

辛い事もたくさんありましたが、昔が1つの家族のように支え合って生きてこられた事は、今日の私達家族にとって心の糧となっています。

一年表（創設～30年代）

- 昭和28年4月 上川郡新得町東1線42番地において、藤川マキエ、田中皎一の両氏が田村政雄氏より土地、建物の提供を受け、北海道身体障害者収容施設を創設。
- 昭和28年5月 同町西1線48番地に収容施設わかふじ寮を併設。
- 昭和29年 経営組織を社会福祉法人として認可申請。
- 昭和30年12月 社会福祉法人として厚生大臣より認可され社会福祉法人厚生協会わかふじ寮と改名。初代施設長に藤川マキエ氏就任。（第1種社会福祉事業開始届出完了）
- 昭和33年8月 お年玉年賀はがき寄付金の配分を主財源として木造モルタル2階建木工指導室330m²を新築し、木工機械設備を整備。
- 昭和33年9月 厚生大臣より身体障害者収容委託施設として指定を受ける。
- 昭和34年4月 天皇陛下より御下賜金拝領。
- 昭和35年12月 お年玉年賀はがき寄付金の配分を主財源として収容施設わかふじ寮耐震ブロック造283m²を新築落成し、熱風式暖房設備を整備。
- 昭和36年3月 地方振興助成金を受け、機械設備を増設。
- 昭和36年4月 天皇陛下より御下賜金拝領。
- 昭和37年9月 お年玉年賀はがきの寄付金及び道費補助を主財源として管理棟木造モルタル仕上2階建438.5m²を新築落成し、暖房諸設備を整備。
- 昭和38年4月 天皇陛下より御下賜金拝領。
- 昭和38年6月 収容定員50名に増員認可。
- 昭和39年12月 道共同募金・日本自転車振興会（競輪）の収益金及び道費補助の配分を受け、鉄骨ブロック造2階建木工指導室330m²を増築し、機械設備を整備。



創立当時のわかふじ寮

わかふじ寮 創設当時を振り返って (指導員 中静 新一)



わかふじ寮に来たのは、私が当時まだ小学校6年生の時でした。

母親が聴覚障害だった事もあり、以前は清水町にある御影家庭園(現 旭山学園)で生活を送っていましたが、昭和28年藤川マキエ氏から新得町に北海道身体障害者授産所を創立するとのお話を受け、母親と共に新得町へ移り住んで来ました。当時はまだ社会福祉法人として厚生省からの認可がおりておらず、施設名も「新得授産所」として職員、利用者合わせても6名程度でした。

昭和30年には法人認可を受け、現在の「わかふじ寮」と改名されました。当時の建物は主に寝泊りに使われ、母親が炊事担当として働くなか、学生の私は毎日、朝と晩の施設の庭掃除が日課だった記憶があります。当時敷地内には工場がなく、職員と利用者の方は、初代理事長にあたる田村政雄氏の御厚意により、田村氏の木工場に通わせて頂き、木工家具技術習得に向け日々腕に磨きをかけておりました。自らも中学卒業と同時に木工見習いとして勤務し、利用者と共に作業へ励み、昼食になるとみんなのお弁当を取りに施設と工場をバイクで往復していた事もあります。また健聴者が藤川先生と私の二人だけであった事から、電話の対応や手話通訳などにも積極的に取り組んでおりました。

昭和39年になると私も木工見習いから職員となり、施設の利用者数も50名に増員認可がありました。まだ施設に1台しかなかった軽自動車を運転し、何度も田中皎一氏と2人で、町内や帯広市などへ家具の寸法を測りに足を運んだ事を思い出します。

今、改めて当時を振り返ると、様々な苦楽はありました。良き思い出として私の記憶の中に残っております。



(田中皎一氏と藤川マキエ氏)

連載 障害者の楽園づくりに生涯を (田中 皎一)

(いつのまにか耳が)

空知川の流れに沿い、なだらかに続く高さ100メートル足らずの山里の砂川市豊平が、私の生まれ故郷である。あたり一帯は水田で、父母も四町歩余りの水田を所有していた。私は7人兄弟の末っ子で、小学校に入学してから4年生まで育った。それは私にとって忘れられない喜びと希望に溢れた毎日であった。当時の学科に珠算があり、これも私の得意の一つであった。

ところが、5年生の初めころより、見取り算の時は満点なのに、先生の読み上げの時はどうしてか間違いが多く、その上、名を指されても分からぬ時が度々あった。

家庭では名前を呼ばれても返事をしないので、分かっていて返事をしないとか、ほんやりしているとか兄たちに言われ、不思議に思ったものである。

私の耳は、急に聞こえなくなったのでなく、徐々に聴力が低下した。特別な痛みもなかったので、家の人は田畠の仕事に追われて、余り気にも止めなかつたようだ。

6年生からは教室で最前列の席を与えられた。先生の問い合わせに見当外れの答えをして友達に笑われ、恥ずかしいやら悔しいやらで、泣きながら廊下に飛び出したこともあった。それまでは首位であった学業も落ち、それが耐えられない苦痛となって、家に帰つてから参考書で夢中なつたこともあった。



次回広報誌 続く

創設者の田中皎一氏が昭和42年に執筆されたものです。

平成15年度 事業報告

■ 法人本部

平成15年度は、身体障害者施設の支援費制度導入に伴い、利用者との新たな契約と個別支援計画の策定を行いました。

老人施設においては、介護保険単価の見直しにより、収入が大幅な減額になり厳しい状況の1年でした。

尚、厚生協会全体の人事考課制度については、1月から導入し、今後は職員の意識改革につなげていきたい。

- ・理事会の開催（11回）
- ・評議員会の開催（5回）
- ・監事監査の実施（4回）
- ・顧問契約の締結（松浦弁護士・富士道公認会計士・吉岡経営センター）
- ・部会の開催（管理部・施設事業部・在宅福祉部・就労センター部・研修部）

■ わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

支援費制度導入に伴い、新たな契約と個別支援計画の策定と計画に沿った支援に取り組んだ1年となった。

個別支援計画については、作業面、生活面と支援を行なった内容を記録し、モニタリングを行い支援計画の随時見直しを行った。支援計画の実施については利用者への説明、同意の上で実施したが、職員の不慣れなことや計画作成時のアセスメントが充分でなかったりしたため、ニーズが不明確なものが見られたりして、当初の計画通り支援ができないケースも見られた。制度がスタートしたばかりで、多種にわたるニーズの把握や支援方法など課題は多いが、その基礎は築くことができた。

又、事業計画の推進のため各種委員会活動を推進した

【生活支援部門】

- ・個別支援計画を策定し、計画に沿った支援とモニタリングを行った。
- ・利用者の意見反映のための懇談会を開催した。

【医療部門】

- ・定期的な健康診断・検診の結果をもとに疾病の早期発見、早期治療に努めた。
- ・肥満や生活習慣病対策として学習会を開催した。

【食生活部門】

- ・利用者の意見を反映した選択メニューと適温給食を実施した。

【事務管理部門】

- ・パソコンを新たに4台購入し、事務の効率化を図った。
- ・QC活動を通じ、車両管理と効率的な運用を図った。

【地域交流・地域開放・関係団体との交流・広報活動】

- ・手話サークルへ講師を派遣し連携を図った。
- ・新得高校福祉講座、新得中学校総合学習など地元の学校の福祉教育の受入を行なった。

【研修・研究】

- ・QC活動発表会、施設内研修（2回）を行った

【委員会活動】

- ・QC活動推進委員会、安全委員会、盲ろう障害者待遇研究委員会、手話技術向上委員会、個別支援計画推進委員会、福祉教育委員会、町内行事協力委員会を設置し事業計画の推進のための活動を行った。

■ 授産事業

厳しい社会競争での事業活動であり、「売上の確保」「仕事量の確保」「コスト能力の向上」を目標に事業振興に取り組み、売上目標額を達成した。

しかし、利用者に対する賞与減額という部分の改善がなされず、新年度は更なる売上増・経費削減を全職員一丸となり取り組み改善に努めたい。

■ 新規事業（委託事業）

- ① 新得町委託ゴミ袋取扱い事業
- ② 老人施設の施設内清掃業務

■ 年間売上額

122,768,000円（目標達成率 102.3% 前年比 99.0%）

■ 工賃支給額（月額平均）

			最低	最高
わかふじ寮（身障授産）	40名	24,675円	(7,000 ~ 57,000円)	
第2わかふじ寮（身障授産）	40名	17,100円	(5,000 ~ 46,000円)	
わかふじワークセンター（身障通所授産）	40名	48,475円	(6,000 ~ 132,000円)	

■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘では、老人福祉法の基本理念と関係法令及び通知に基づき、利用者に対し医学的管理のもとで心身の健康状態等に対応した適切な待遇と、利用者の生活意欲の増進等を図った。

また、その身体的、精神的条件に応じた減退機能の回復訓練又は機能減退防止のための必要な指導訓練を行い、生きがいを持つ健全で安らかな生活ができるように運営し、市町村などの関係機関との密接な連携を図った。

【介護部門】

- ・個別巡回計画を策定
- ・痴呆性老人の巡回対策の確立
- ・全国4ヶ所（広島、京都、福岡、北海道）の聴覚障害者の老人ホーム利用者との交流

【医療部門】

- ・定期健康診断の実施
- ・インフルエンザ予防対策としてワクチン接種の実施

【地域社会との交流・広報活動】

- ・中・高校生を対象としたボランティアスクールの実施、交流
- ・町民芸能芸術祭等への参加、交流

■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘では、利用者に対し、解決すべき課題を把握した施設サービス計画に基づき、利用者の自立の支援及び日常生活の充実に資するよう、心身の状況等に応じて、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活上の支援、機能訓練、健康管理及び療養上の支援等の施設サービスを提供してきた。

また、個人の尊厳を重視した質の高いサービスを提供するように努め、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結び付きを重視した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者等の関係機関や他の介護保険施設又は医療機関との密接な連携を図った。

【介護部門】

- ・施設サービス計画を作成し、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

【医療部門】

- ・定期健康診断の実施
- ・インフルエンザ予防対策としてワクチン接種の実施

【社会生活上の便宜の供与、地域交流】

- ・利用者と家族との連携を図り、交際等の機会を確保するよう努めた。
- ・地域住民との連携及び協力をを行うなどの地域との交流に努めた。

■短期入所生活介護事業所 新得やすらぎ荘

短期入所生活介護計画に基づき、利用者の機能訓練及びその者が日常生活を営む上で必要な援助を行った。

■通所介護事業所 やすらぎ荘

日帰りサービスセンターやすらぎ荘では、利用者が、可能な限りその居宅において、その能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴及び食事の提供、生活等に関する相談及び助言、健康状態の確認その他の必要な日常生活上の世話、機能訓練等のサービスを提供してきた。

また、利用者の健全で安定した在宅生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

【利用者サービス】

- ・通所介護計画に基づき、利用者の機能訓練及び日常生活を営むことができるよう必要な援助を行った。

【衛生管理等】

- ・感染症が発生し、蔓延しないように必要な措置を講じた。

■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

訪問介護事業所新得やすらぎ荘では、町の保健、医療、福祉サービスなどの関係機関と綿密な連携をとりながら、利用者の健全で安らかな在宅生活を送ることができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行い、利用者の生活の質の向上を実現を図った。

【利用者サービス】

- ・訪問介護計画を作成し、利用者がその能力に応じ自立した生活が営めるよう援助を行った。

■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

町内の要介護者等の高齢者が居宅において自立した生活ができる事を目指し、福祉及び医療サービス等が適切に提供されるよう居宅介護支援を行ってきた。

これらの支援を行うため市町村、サービス業者、医療関係者との綿密な連携を図った。

【介護サービス計画の策定】

- ・専門的な見地から利用者が抱える問題点に対して課題分析（アセスメント）を行い、課題解決のために要介護者や家族の意向を汲み入れ目標設定した有効な介護サービス計画（ケアプラン）を作成してきた。

■ 届足わかふじ園

平成15年度より支援費制度が開始された。これに先立ち、利用者に支援費制度について説明をする機会を持ったり、家族には支援費制度のパンフレット等を配り情報を提供する中で、少しでも制度の移行への不安が軽減できるように努めてきた。そして平成15年3月末日までは家族同席のもと、契約書・重要事項説明書・個別支援計画書等の説明を個別に行い契約を取り交わし、4月からの支援費制度への移行を大きな問題もなく行う事ができた。職員に対しては支援費制度の理解が深まるように、職員会議等で支援費について説明する機会を随時設けてきた。

平成15年度は、支援費制度に移行して基盤づくりの年であった。これからが利用者の「自己選択と自己決定」のために、職員の意識を転換させ、共に考えていかなければならないといえる。

【介護部門】

- ・個々のニーズに合わせたケアプランを作成し、サービスの向上に努めた。
- ・介護マニュアルを作成し、介護技術の向上・介護内容の充実に努めた。
- ・昨年のクラブ活動を見直し、新たに料理クラブを2ヶ月に1度取り入れた。また、外注でエステを女性対象に行ってきた。
- ・介護業務における引き継ぎにおいて、日々の連絡調整担当を決め、責任と連絡調整の徹底を図った。

【医療部門】

- ・利用者の状態に異変がある時は、看護師を中心とした連絡を徹底し、状態把握に努めた。
- ・医師、協力病院へ細かな利用者の状態報告を含め連絡を密に取った。
- ・緊急時の対応マニュアルを作成した。
- ・利用者の健康診断及び胸部レントゲン撮影等を実施した。

【給食部門】

- ・嗜好調査を実施し、利用者の意見をメニューに反映させるように努めた。
- ・利用者の希望により、朝食時にパン食を選択出来るようにした。
- ・週に1回(火曜日)に選択メニューを実施していたが、2月から週2回(火・金曜日)実施し、利用者の嗜好により配慮出来るように取り組んだ。
- ・ハンバーグ、ラーメンによる出張出前サービスで施設給食以外の食事を実施した。
- ・衛生管理マニュアルと異物混入防止マニュアルを作成した。

【リハビリ部門】

- ・毎月2回北斗病院より理学療法士を派遣してもらい利用者のリハビリについての指導を受けた。
- ・月曜日から金曜日の9:00から12:00まで柔道整復師によるリハビリを行った。
- ・9月より理学療法士を採用し、以前よりも充実したりハビリを提供出来るようになった。

【生活支援部門】

- ・入所前面接の時に説明を十分行い、施設の情報を提供し、利用者や家族の理解を得て契約を行った。
- ・利用者の状況把握や要望等の確認を行い、利用者に必要な介護を提供出来るようにしてきた。
- ・利用者が適切なサービスを受けられるよう、各部門との連絡調整を密にした。
- ・利用者からの苦情・相談を随時受け入れ、個別の相談援助を行うと共に、必要に応じ利用者間の人間関係の調整を行った。
- ・ボランティア受け入れマニュアルを作成した。
- ・月に1度桜の会(利用者懇談会)を開催した。出された意見は、給食会議や職員会議等で利用者の声として検討し反映してきた。
- ・在宅部会の企画として、利用拡大をめざし町民向けの折り込み広告をだした。

【地域との関わり】

- ・町内の団体等の協力を得て地域に根付く施設作りの一環としてさなづな祭りを実施した。
- ・保育所の園児との交流や小・中・高校生の福祉講座受け入れ等、教育機関との関係を密にとってきた。

【防災訓練】

- ・避難訓練を2回実施し、そのうち1回は昨年完成した歩道を利用しての夜間想定の避難訓練を行った。また、ビデオを利用して防災学習を行った。
- ・避難のための搬送訓練として、シートを利用しての搬送やベッドの移動による方法等、搬送について職員を対象とした実技練習を実施した。

【家族会の活動】

- ・さなづな祭りの協力、社会福祉施設家族会交流会への参加、家族会新年会等事業計画に添い活動を広げていった。

■ 届足わかふじデイサービスセンター

平成12年度より、身体障害者デイサービス事業を届足わかふじ園の併設事業として、新得町からの委託を受けて実施していたが、平成15年度から支援費制度導入に伴い、指定身体障害者デイサービス事業として実施している。知的障害者デイサービス事業は継続して新得町からの委託を受けて実施している。

全体的な利用状況として新規登録者が2名あり、延べ利用者数が昨年度より150名程増加(計678名)した。また6月より、それまで週2回(月・木曜日)の営業日を週3回(月・木・金曜日)に増やしたこと、延べ利用者数増につながっている。

平成15年度の新規利用者増の対策として、法人広報誌による利用の呼びかけや役場保健師を通し情報提供を行い、清水町・鹿追町へPR活動を行った。

平成15年度の活動内容として、機能訓練では主にビデオ体操を重視して行い、レクリエーションではボールやサイコロを使った運動を園利用者とともに参加し、交流を深めた。創作的活動ではビーズ・縫・木工等を使用した作品作りをし、その作品を園内の行事の際に展示した。さらに近隣の公園(届足公園・清水公園)等に外出し、園外での活動機会を増やした。

平成15年度 決算報告

財産目録

(単位:円)

資産の部		
科 目	摘要	金額
流動資産		340,630,331
固定資産		3,287,568,213
資産合計		3,628,198,544

負債の部		
科 目	摘要	金額
流动負債		60,723,845
固定負債		551,043,919
負債合計		611,767,764
差引正味資産		3,016,430,780

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産	340,630,331	流动負債	60,723,845
固定資産	3,287,568,213	固定負債	551,043,919
資産合計	3,628,198,544	基本本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	1,972,961,872
		その他の積立金	300,052,796
		次期繰越活動収支差額	728,916,112
		負債純資産合計	3,628,198,544

事業活動収支決算書

科 目	金 領
介護保険収入	247,924,640
利用料収入	10,292,525
措置費収入	177,819,380
支援費収入	608,064,944
寄附金収入	6,543,595
雑収入	110,521,489
借入金元金償還補助金収入	36,954,234
国庫補助金等特別積立金取崩額	61,285,899
受取利息配当金収入	56,662
経理区分間繰入金収入	32,842,514
授産事業収入	126,795,844
施設整備等補助金収入	54,082,300
収入合計	1,473,184,026
人件費支出	650,955,333
事務費支出	137,476,404
事業費支出	179,624,848
減価償却費	86,107,211
引当金繰入	27,591,676
借入金利息支出	11,763,078
経理区分間繰入金支出	32,842,514
国庫補助金等特別積立金積立額	1,482,300
授産事業支出	121,315,768
支出合計	1,249,159,132
当期活動収支差額	224,024,894
前期繰越活動収支差額	577,023,178
その他の積立金取崩額	40,000,000
その他の積立金積立額	112,131,960
次期繰越活動収支差額	728,916,112

資金収支計算書

科 目	金 領
介護保険収入	247,924,640
利用料収入	10,292,525
措置費収入	177,819,380
支援費収入	608,064,944
寄附金収入	6,543,595
雑収入	110,521,489
受取利息配当金収入	56,662
経理区分間繰入金収入	32,842,514
借入金収入	38,000,000
借入金元金償還補助金収入	36,954,234
授産事業収入	126,795,844
施設整備等補助金収入	54,082,300
積立預金取崩収入	49,412,500
収入合計	1,499,310,627
人件費支出	650,955,333
事務費支出	146,035,972
事業費支出	179,491,137
借入金利息支出	11,763,078
経理区分間繰入金支出	32,842,514
固定資産取得支出	151,154,849
授産事業支出	121,315,768
積立預金積立支出	134,631,960
借入金元金償還金支出	35,360,000
その他の支出	1,306,101
支出合計	1,464,856,712
当期資金収支差額	34,453,915
前期末支払資金残高	245,452,571
当期末支払資金残高	279,906,486

合同花見 (わかふじ寮・やすらぎ荘)

前日は小雨が降り天候が心配されましたが、5月8日当日は晴天に恵まれ、憩いの広場にてやすらぎ荘との合同お花見が行なわれました。わかふじ寮では午前中に地域交流ホーム「ふじ」で家族会総会が行なわれ、前年度の事業・決算・監査報告、今年度の事業計画・予算案につづき、新しい作業棟の建設決定が報告されました。

お花見は、残念ながら桜の開花にはまだ少し早く、昨年のような満開の桜に囲まれた花見というわけにはいきませんでしたが、利用者の方々はビールを飲み、美味しいジンギスカンに舌をつみを打ちながら、参加された御家族や御親戚、御友人との歓談に花を咲かせておりました。わかふじ寮の御父兄には44名の参加を頂き、日頃の感謝の気持ちを込め、母の日のカーネーションをプレゼントさせて頂きました。

やすらぎ荘では広場と食堂の二手に分かれ、食堂には外出が苦手な方にもお花見の雰囲気を味わって頂こうと職員手作りの紙桜を飾り、ジンギスカンを食べました。



花見 (届足わかふじ園)

5月12日に届足公園へ花見に行きました。当日は少し風が強く感じましたが、天気も良く過ごしやすい1日であり、どの利用者も生き生きとした表情で出掛け行きました。

公園に行く間も、道路や花壇に咲いている花を観賞しながら行き、到着してからは本日の最大のイベント「桜」を観て回りました。暖かい気候が続いたせいか、桜がとても綺麗に咲いており、利用者の方も感激していました。花見の他にもカラオケや年齢当てクイズをしたり、職員間の野球投げ(男同士)ではあらわな姿を披露し、とても盛り上がっていました。

また、もう1つのイベント(?)である焼肉やカレーライスも好評で、美味しくいただいていました。

帰園後、どの利用者も“楽しかった”と笑顔を浮かべ、とても満足していました。



桜見学

(新得やすらぎ荘)

5月12日清水公園に桜見学に行きました。風が少し強かったのですが、とても暖かく桜も満開でした。

普段からなかなか外に出る機会が少ないためか、利用者の皆さんは、とても喜んでいるように見られました。バスから降りない利用者の方もいましたが、きれいな桜を見て喜んでいました。他の利用者の方々は、桜の木の前で写真を撮ったり、松ぼっくりを拾われる方もいました。

楽しんだ後に桜を見ながらおかしを食べたり、ジュースを飲んで帰ってきました。

帰りのバスの中でも「桜がとてもきれいだった」と話されていて、とても楽しまれた様子でした。



新得神社山開き (やすらぎ荘)

草木が芽吹き出してきた4月21日に、やすらぎ荘のすぐ近くにある新得神社山の山開きがありました。当日は風も強く小雨の降る寒い日でしたが、やすらぎ荘の施設利用者の皆さんは、毎年楽しみにされており今年も25名の方が、山開きへ出掛けました。

暖かくなると施設からの散歩コースで何度も来ることになる場所ですが、新たな気持ちでお参りました。帰り際に紅白の餅を頂いて帰郷し、午後から餅をおしるこにしてみんなで食べました。どの利用者の方も、「おしるこおいしいね」と楽しいひとときとなりました。



外注食(ロッキーラーメン) (届足わかふじ園)

2月のびっくりドンキーに続き、3月18日にラーメン店「ロッキー」の外注食がありました。冬場は外出の機会があまりないために、今回はこの時期に企画しました。

メニューは味噌・塩・醤油味の3種類あり、事前に利用者の方々に希望を聞き、あつあつのラーメンを出しました。全種類とも、まさに麺にコシ、スープにコクがあり美味しいいただきました。また、店の雰囲気をということで、ロッキーの「のれん」を厨房に掲げていただき、利用者・職員の間で歓声があがっていました。

今後も利用者の方々に喜んでいただく為に、希望を聞きながら外注食を企画していきたいと思っています。



町内外食

(やすらぎ荘)

3月25日に恒例の町内外食がありました。事前に希望を聞き4軒のお店（石松、せきぐち、暖笑、みしな）に分かれてもらい、バス2台で行きました。

毎年、生寿司、巻き寿司、そばが人気なのですが、今年は、サンドイッチを希望された方が意外にも多く驚かされました。外食は、年に数回あるのですが、冬期間は外出もほとんど出来ない為か、この時をとても楽しみにされておられ、いつもはあまり食べられない方でも、残さず食べられています。食後は、店の前で満足な顔をして、記念写真を撮影して帰荘しました。



外食

(届足わかふじ園)

届足の焼肉平和園（5/13・14・20）と茅室の回転寿司羽衣亭（5/21・27）への外食行事がありました。それぞれ3～4人のグループに分かれ、行ってきました。

どの利用者も出掛ける前から「○○食べるんだ」と楽しみにしていました。平和園では、お肉を目の前で焼き、すぐに食べられることを楽しみ、羽衣亭では、目の前で回っているネタを自分で見て選んで食べられるということを体験しました。「食べる」という楽しみだけではなく、店の雰囲気等いつもとは違う食事風景を体験し、どの利用者も自然と表情が微笑んでいました。

外出された方々は、皆お腹いっぱい食べ「美味しかった」「楽しかった」等とそれぞれの感想を目を輝かせながら話され、満足した表情で帰ってきました。



お茶会

(やすらぎ荘)

3月12日午後から「お茶会」という名目の行事を行いました。普段使用されているホールに喫茶店の雰囲気を作り出して利用者の方々に楽しんで頂く事を目的に行いました。

飲み物は、コーヒー、紅茶、ココア、オレンジジュースの4種類の中から1つ選んで頂き、利用者の方々は「どれにしようかな」と楽しみながら選んで、ショートケーキをセットに美味しく頂きました。参加した職員は、ワイシャツに黒いズボンと、ウェイトレスの服装をする等、工夫しました。初めて喫茶店の雰囲気を味わう方も多く、利用者には、とても好評でした。今後も利用者の皆さんに満足して頂ける様にメニューを工夫していきたいと思っています。



プロ野球観戦 (わかふじ寮)

4月23日札幌ドームで行なわれたプロ野球公式戦、日本ハムファイターズ対ダイエーホークスの試合を観戦してきました。

今回の観戦については北海道フランチャイズ元年を迎えた北海道日本ハムファイターズ球団が、スポーツがいつもそばにある街づくり「スポーツコミュニティー」を目的に、球団・大成建設㈱・小笠原選手・坪井選手・金村選手・芝草選手の御厚意により、札幌ドームで開催される北海道日本ハムファイターズ公式戦に、道内の社会福祉施設及び障害者地域共同作業所を利用されている方々、障害児学校に在学されている児童・生徒の方々を対象とした「福祉シート」を設定したもので、この招待を受け利用者の中から野球ファンの希望者24名が観戦してきました。

座席は一塁ベース横中段の内野席で、日頃テレビでしか見たことのない生のプロ野球選手達の熱戦に、応援グッズのメガホン片手に盛り上がりを見せていました。中には野球グローブを事前に持参しファールフライに期待している利用者の姿も・・・。試合中圧巻だったのは、2回裏ファイターズ新庄選手のセンターからバックホームへのノーバウンドでの捕殺で、皆驚きと喜びを隠せない表情を浮かべておりました。また試合だけではなく、5回終了場面におけるマスコットキャラクターとチアガールによる踊りには、座席から立ち上がり一緒に踊る利用者もあり、十分に満喫した様子がうかがえました。

残念ながら試合は5-3とファイターズが敗れてしましましたが、北海道日本ハムファイターズ様の御厚意により興奮と感動のナイターを過ごすことができました。ありがとうございました。



外出行事(買い物編) (届足わかふじ園)

5月7日より、外出行事が始まりました。今回は、利用者の希望を取り入れたコースということで、映画コースとボスフルコースを新たに設けました。映画コースは、普段はなかなか行かれぬ映画館で、大画面を前に観られたとのことで大変興奮していました。

また別のグループではイトヨーカドーに行き、ボランティアの方々の協力を得ながらじっくりと品物を見て買い物をしたり、昼食時には好きな食べ物を選んで食べ、それぞれが思い思いの時間を過ごしていました。他にも毎年見学(応援)している園利用者、村上正和さんのCG展(藤丸)に行くコースもありました。

今回も大きなトラブルがなく、外出した利用者の方々は十分に楽しめたと思います。



買物外出

(やすらぎ荘)

5月26・28日、2班に分かれて帯広のイトヨーカドーに買物外出に行ってきました。

お天気も良く、久しぶりの買物外出に、利用者の皆さんは、満面の笑みでバスに乗り、イトヨーカドーの正面玄関に着いた時、回転ドアが外され自動ドアになっていたので、皆さん安心されたようでした。

デパートに入ってからは、急いで買物をしようと売り場を探す方、ゆっくりと買物を楽しむれる方と様々でしたが、早々に買物を終えた方は、レストラン街に行き、色々なお店を見ながら、「何にしようかな」と考え、お店に入り注文されました。その後ファーストフードショップでおやきを食べたりジュースを飲まれたりしていました。

買物外出は、春と秋に予定され、利用者がもっとも楽しみにしている行事です。今回も両手いっぱいに買物袋を下げ笑顔で帰荘されました。



サホロクリニックで手話講習会開催

(わかふじ寮)

町内のサホロクリニックには日頃通院や入院で大変お世話になっていますが、病院スタッフの皆さんから施設利用者と接する機会も多いので、手話を覚え、利用者の方と少しでも多くのコミュニケーションを図りたいという要望があり手話講習会を行ないました。

講習会は当直勤務や救急患者が搬送される忙しい業務の中、一般診療時間終了後に病院スタッフの皆さんに集まって頂き、昨年末より計5回に亘って開催されました。

講習会の内容は基本的な手話から日常会話、また看護師さんからの質問を交えながら行なわれ、参加された皆さんは熱心に取り組まれておりました。

② ← ①



ボランティア紹介

[日創サービスセンターやすらぎ荘]

5月10日からボランティアとして来て頂く事になりました榎本博司さんです。榎本さんから一言頂きましたので紹介いたします。

昨年の3月まで、北海道職員として38年間勤務させて頂きました。その間、農業の技術普及など、農家の皆さんと一緒に考え、経営・生活の向上に携わり、新得町には、昭和60年～平成6年まで勤務していました。デイサービスのボランティアをするきっかけは、ここで以前からボランティアをしている又従兄弟の榎本一次さんの生き方に感動と、今まで効率・経済効果ばかりを求めていた仕事だったので、ここで人生の先輩の生き方を学び、自分の老い方も考えたかった。又、ヘルパー2級を取得し、福祉とは何かも体験したかったからです。月・水曜日の週2回お世話になります。何卒宜しくお願ひ致します。



防風林植樹

(わかふじ寮)

これまで幾多の暴風雪からわかふじ寮を守ってくれていたカラマツの防風林が、昨年、強風の度に相次いで倒れた為、危険防止に今年の1月にすべて伐採しました。

新たな防風林の植樹を予定していたところ、町内にお住まいの金沢静雄氏からの御厚意により、高さ30cm～1m50cm程に育ったブンゲンストウヒの苗木を200本程頂く事になりました。植樹は5月19日に行われ、法人の役員やわかふじ寮職員、利用者の手によって1本1本丁寧に植えられました。

新たに役割を果たすブンゲンストウヒの苗木たちは、今後の生長と共に陰ながらわかふじ寮を見守ってくれることと思います。



家族会総会

(屈足わかふじ園)

5月16日に屈足わかふじ園家族会総会があり、17名（15家族）のご家族に出席していただきました。

当日は、入会状況や平成15年度の事業報告を行い、平成16年度の事業計画（案）では、全道家族会交流会の担当施設が当園ということもあり、それについての話しをしました。また施設長より「支援費制度と介護保険の統合の動き」「外出時のリフト車両の使用について」等、資料を基に説明しました。

総会終了後の意見交換の場では、ご家族から制度や生命保険について、介護面に関して等、様々な話し合いがなされました。

尚、今回の総会の内容は、文書にして後日全家族に配布する予定になっています。



誕生会

(やすらぎ荘)

やすらぎ荘では、職員が季節感を取り入れた絵を書き、その中に誕生者の名前を入れ、廊下に掲示していますが、毎月絵が変わり利用者の皆さんも注目しています。

誕生日には、プレゼントを渡しています。昨年はケーキで、今年は、趣向を変え和菓子にかわり好評です。誕生日当日に朝会で発表し、気の合う仲間や職員からプレゼントをもらい、記念写真を撮ってお祝いをしています。

その他にも、誕生会があり、3ヶ月に1度くつたり温泉レイク・インに昼食を食べに行きます。利用者の1番人気は生寿司で、他にもそば汁、天ぷら、茶碗蒸し、煮物、ケーキ等々、沢山のメニューに目を輝かせ、利用者の驚く程の食欲に、職員もビックリする程でした。

皆さんにとっても楽しみにしているので、今後もなくてはならない行事の一つとして取り組んでいきたいと思います。



長寿の祝

(やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

5月27日に行われました長寿の祝は、米寿（88才）1名、傘寿（80才）1名、喜寿（77才）1名の方々が、皆さんから盛大な祝福をうけられました。

今回は3名と少ない人数でしたが、ご家族の方が来られたり、食事も皆さん的好きな生寿司だった為、大変喜ばれていました。

また、利用者の方々による踊りも披露され、見ている利用者も音楽に合わせて手拍子を行ったり、踊りに参加されたりと、とても楽しまれていました。

お祝いを受けられた3名の方だけでなく、お祝いをした利用者の方達も一緒に楽しんで頂けた長寿の祝でした。



誕生会

(新得やすらぎ荘)

新得やすらぎ荘では、毎年、利用者の誕生日にプレゼントを渡しています。

今年のプレゼントは、アレンジメントフラワーとケーキを職員が渡し、記念写真を撮っています。

前年度は、本人の写真入りフレームとバースディケーキで好評でしたが、少し趣向を変えてみました。アレンジメントフラワーは、町内のお花屋さんに頼んで作ってもらい、ケーキは帯広の柳月で作っている「今月のケーキ」を箱に入れラッピングして頂いています。

利用者の皆さんにはとても大好評で喜ばれています。



特養のヒロイン

(新得やすらぎ荘)

特養のヒロインを紹介させて頂きます。今回のヒロインは鳥湯 妙子さんです。エプロンが好きで、いつも身に付けておられるオシャレな方で、それがとても似合っています。鳥湯さんは、とても優しく、いつも笑顔を絶やさないので、皆さんに大変人気があり、職員に対しても、親しみを込めて肩や背中をさすってくださったり、いつもニコニコと笑顔で話しかけて下さいます。

職員一同、これからも元気に毎日を楽しく過ごし、長生きして頂く事を心から願っています。



厚生協会交通安全大会 (法人)

6月2日、地域交流ホーム「ふじ」にて新得警察署交通課河合係長を講師に招き、厚生協会全職員を対象とした交通安全大会が開かれました。

河合係長の講話では運転に関する安全意識や様々な危険予知の必要性をお聞きし、またシートベルト未装着時での衝突実験ビデオを見て、事故の恐ろしさを改めて痛感させられました。

自分のみならず、日頃通院や送迎で利用の方を乗せ運転をする事が多い中、同乗者の方にもより安心して乗って頂けるよう安全運転に対する意識が高まりました。また昨年3施設(わかふじ寮・やすらぎ荘・屈足わかふじ園)で参加したセーフティライナーの表彰式も行なわれましたが、残念ながら完走したのはやすらぎ荘だけでした。

最後に、職員一同無事故無違反に努めるよう、職員代表としてやすらぎ荘高橋寛が交通安全宣言をし、全職員で交通安全を誓いました。



道東ろうあ者スポーツ大会 (わかふじ寮)

5月23日に根室市パークゴルフ場において、第5回パークゴルフ大会が開催されました。この大会は道東地区に住んでいるろうあ者の交流を目的として開かれ、北見、釧路、帯広、新得、地元根室などから48名の参加者が集まり、新得からは15名の選手が参加しました。またソフトバレーボール競技も開催され、帯広Bチームとして2名参加しましたが、残念ながら6位に終わりました。

パークゴルフ競技の順位については以下の通りです。

パークゴルフ (男性の部)

- | | | |
|----|----|----|
| 1位 | 佐治 | 信也 |
| 2位 | 川口 | 豊 |
| 4位 | 井上 | 勝 |
| 6位 | 水本 | 昇 |



交通安全教室 (わかふじ寮)

毎年恒例となっている交通安全教室を6月5日新得モータースクールで、開催しました。

天候にも恵まれ、佐々木理事長、新得警察署中野交通課長より挨拶の後、2グループに分かれて講習を受けました。

歩行グループは運転手から見た死角・視認のビデオを見た後、夜間歩行を想定した暗い所で発見されやすい服の色の実験や、自動車の乗り降り、シートベルトの締め方などを教わりました。

自転車グループは、コース内に教習車を走らせてもらい、右折・左折の仕方、またS字・クランク・一本橋走行などを実際に体験しました。

これからの時期、外に出ることが多くなります。今回教わったことを忘れず、交通安全には十分気をつけてもらいたいものです。



行事のお知らせ

第23回ふれあい盆踊り

平成16年7月24日 (土)

場所 いこいの広場

時間 PM5:00～PM8:00

小雨でも決行致しますので、多数の皆様ご来場をお待ちしております。

第5回きずなの郷まつり

平成16年8月28日 (土)

場所 屈足わかふじ園前

時間 PM1:30～PM3:30

厚生協会が設立50周年ということもあり、記念事業として東芝EMIの麻生詩織さんによるミニコンサートを予定しています。

サマーボランティスクール

平成16年8月3日 (火)、4日 (水)、5日 (木)

場所 厚生協会各施設

対象者 期間中サマーボランティスクールへ通える新得町、鹿追町、清水町、芽室町に在住の高校生

先着15名

費用 無料

申込締切 7月16日 屈足わかふじ園

TEL 01566-5-2001 高橋まで

御寄付・御寄贈ありがとうございました

平成16年3月21日～平成16年5月31日（敬称略）

【本 部】

新得町 児玉 武
若小牧市 牧野武司
札幌市 木村昌次
静岡県 島津千鶴子
新得町 浅井秀雄
小笠ヒロ子
中村清秀
菊地 乾
金沢静雄

【わかふじ寮】

函館市 磯部 章
札幌市 滝沢広忠
新得町 布みうら
日高町 藤沢英明
新得町 菅原武夫
北見市 板口和成
別海町 水沼 猛
標茶町 千葉 熟
千歳市 森谷二三男

札幌市 菊地リヨ 小樽市 金子治郎 石狩市 管野清廣 深川市 須田有俊 鶴川町 貴俵サワ子 苫小牧市 木村則敏 広尾町 松下光雄 秋田県 横山 繁 東京都 聴力障害者情報文化センター

【やすらぎ荘】

新得町 福木 英雄
新栄会婦人部
千葉 玄昭
藤田久美子
札幌市 斎藤 三男
置戸町 中川 幸子
当麻町 山口 昭子

【新得やすらぎ荘】

新得町 川本あゆみ

新得町

三浦商店
中野 格次
菊地 乾
中村 清秀
芽室町 吉田 政勝
室良野町 石川 幸雄

【屈足わかふじ園】

新得町 吉田春男
屈足朝日の一町内会婦人部
小川コエキ
金元貴子
栗栖信子
中野フク
高橋 敏
鳴原ヤイ
藤澤三夫
南部久夫
栗栖富男
パンフィックベンディング
北海道株式会社営業所

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けていますのでご利用ください。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp(わかふじ寮)
wakafuji@rose.ocn.ne.jp(屈足わかふじ園)

閲覧

厚生協会の事業報告書・財産目録・貸借対照表及び収支計算書等が閲覧できます。

閲覧場所

厚生協会 法人事務局
新得町西3条北1丁目わかふじ寮内

編集後記

今年は、わかふじ寮創設50周年という事で特集記事にしてみました。私自身、改めて創設当時のお話を聞かせて頂き感銘を受けると共に、現在との時代背景の移り変わりには驚きを感じつつ夏号制作となりました。（C・Y）

冷酒の美味しい季節になりました。沢山食べて沢山飲んで暑い夏を乗りきりましょう。（T・A）

去年の夏は天気も悪く寒かったので、今年の夏は暑くなるように期待したいです。（T・J）

わかふじ寮 オリジナル 製品ベスト5

過去3年間に
おける展示会の
人気製品です。
ぜひお買い
求め下さい。



1. ニレイス(中) 4,725円 2. お勝手ワゴン 10,290円

3. ブランター 1,575円



4. 便利棚 840円



5. アニマルブーブー 105~2,625円

※ガーデニング製品・オーダー家具も取り揃えております。お気軽にご相談下さい。
わかふじ寮 TEL (01566) 4-5001 担当 片桐・高橋・高松